20-70777C

CARMATE

AILEBEBE

エールベベ・360ターン SⅡ
エールベベ・360ターン アドバンス

取扱説明書

- 本品は正しい使用および取付けをしないと本来の性能を発揮できません。本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。また、取付ける車を変更する場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。
- 本書の内容を十分にご理解の上ご使用ください。記載内容にご不明な点がありましたら、当社サービスセンターにお問合わせください。

本品はヨーロッパ安全基準 ECE R44/04 において下記条件で認可された商品です。
（グループ： 0+、Ⅰ、セミユニバーサルカテゴリー）
- **お子さまの体重2500g～18kgのみ使用可能**
- **当社の適合情報にて取付け可能な車の座席のみ使用可能**

詳しくは本書の各項目をご覧ください。

⚠警告

本品が入っているビニール袋は、開封後すぐにやぶり捨ててください。
お子さまがかぶられますと窒息等の事故に至る可能性があり大変危険です。

JA

はじめに

このたびは、本品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本品を安全に正しくお使いいただくために、必ずご使用前に本書をよく読み、内容を十分に理解していただきますようお願いいたします。
誤った取付け・使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。
本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。
また、取付ける車を変更する場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。

■ **車種適合の確認方法**

店頭で..............「エールベベ　車種別適合表」
パソコンで ..... http://www.carmate.co.jp
ケータイで ..... http://db.carmate.co.jp/m/childmatching.html
　　ケータイの場合、こちらのQRコードからもアクセスできます。➡

ご不明な点がございましたら、巻末に記載のカーメイトサービスセンターへお問い合わせください。

- 取扱説明書はお読みになった後も、ご使用ごとに必要となりますので、リアカバー内側に大切に保管してください。

取扱説明書
収納場所

本品は、車での衝突や急停車などによるお子さまの傷害を軽減することを目的とした年少者用補助乗車装置です。
必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。
安全運転の心がけをお願いいたします。

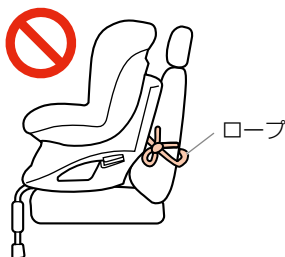
本品は万全な品質管理体制のもとに製造されておりますが、万一、本品に関する製造上の問題等が生じた場合、直ちにお客様にお知らせするために登録システムへのご協力をお願いいたします。お手数ですが同梱の「トリプル保証お申し込みのご案内」をお読みいただき、ご登録ください。

お客様の登録システムについて

ご登録頂きましたお客様へ、安心の『トリプル保証』でサポートさせて頂きます。
① **4 年間の製品ロング保証**
② **万一の交通事故の際にチャイルドシート無料交換 (保証期間 4 年)**
③ **チャイルドシート見舞金制度 (保証期間 1 年)**

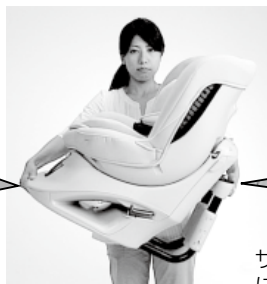
注）詳細は同梱の「トリプル保証 お申し込みのご案内」をお読みいただき、ご登録ください。
注）他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。

安全にお使いいただくために

車のシートベルトを必ず使用して固定する。

お子さまは必ず本品のハーネスを使用する。

お子さまの体格にあった使用方法を守る。

本品の正しい持ちかた

ベース底面のくぼみにしっかりと指をかけてください。

サポートレッグをしっかりとにぎってください。

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。
それぞれの記号とその内容は下記のとおりです。

⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
注意	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、物的損害が生ずるおそれがあります。
ヒント	本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

もくじ

安全にお使いいただくために

車への取付方法

お子さまを乗せる前に

お子さまの乗せ降ろし

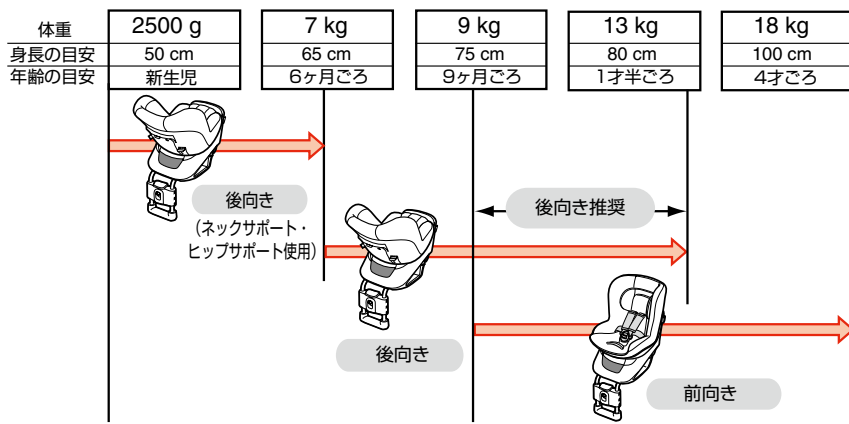
その他

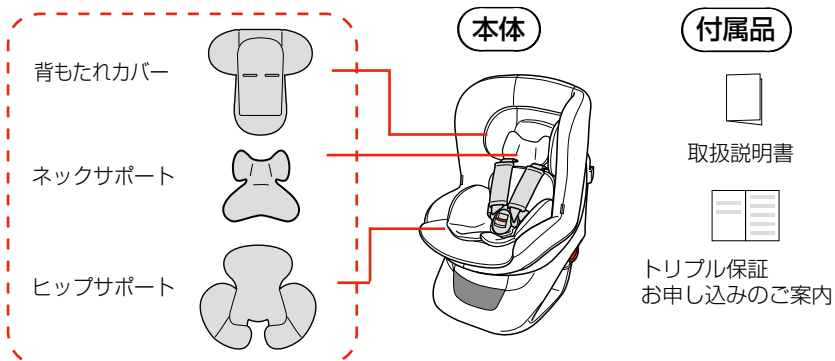
安全上の注意

適応条件

本品は体重により使用する向きが異なります。身長や年齢が条件を満たしている場合でも、体重が適応条件にあてはまらない場合には体重に合わせてご使用ください。

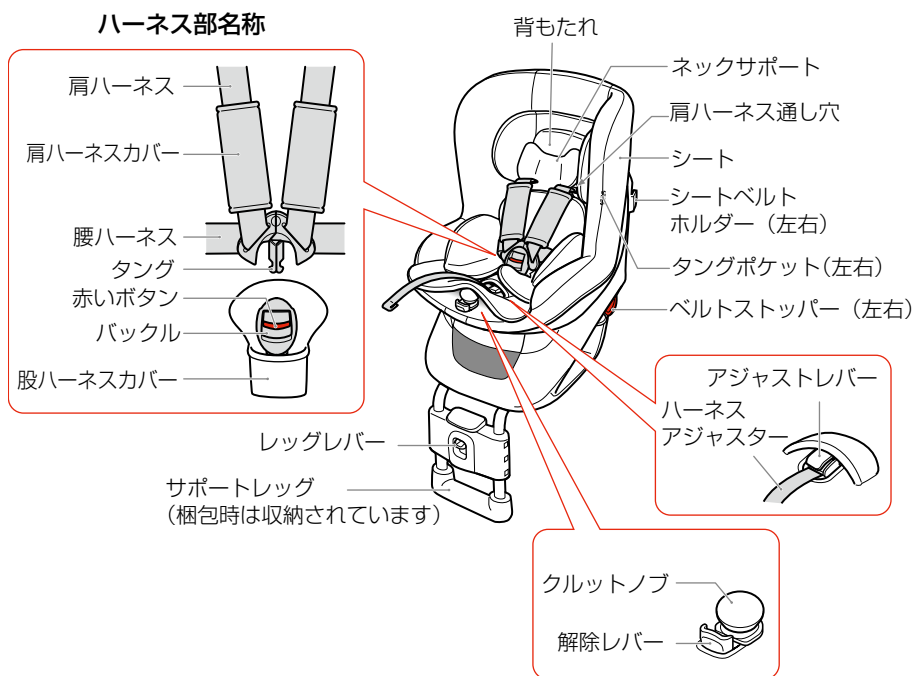
ヒント

お子さまの体重が9kg～13kgの間は後向き･前向きのどちらでも使用できます。ただし、13kgまではより安全な後向きでのご使用を推奨します。(小さなお子さまは、骨格が未熟なため衝突時の衝撃を背中全体で分散して受け止めるのが理想です。)

梱包内容の確認

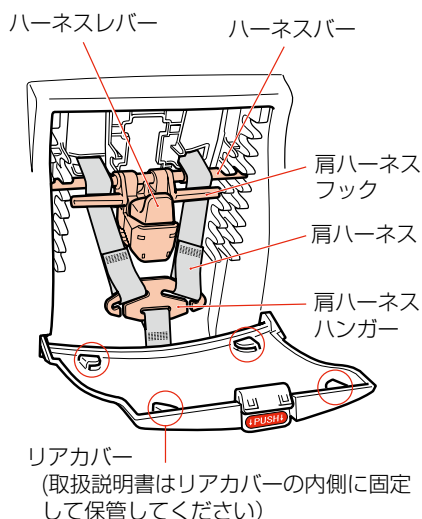
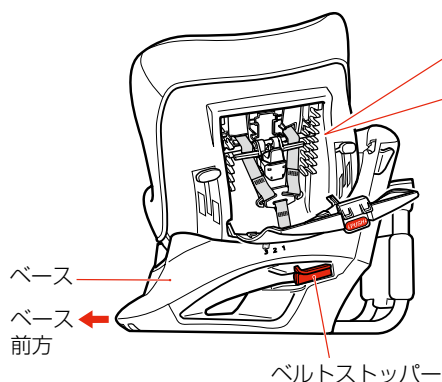
初めに梱包内容を確認して、万一不足部品がありましたら本書記載のサービスセンターへご連絡ください。

カバー、ネックサポート、ヒップサポートは、グレードにより仕様や付属品が異なります。

各部の名称

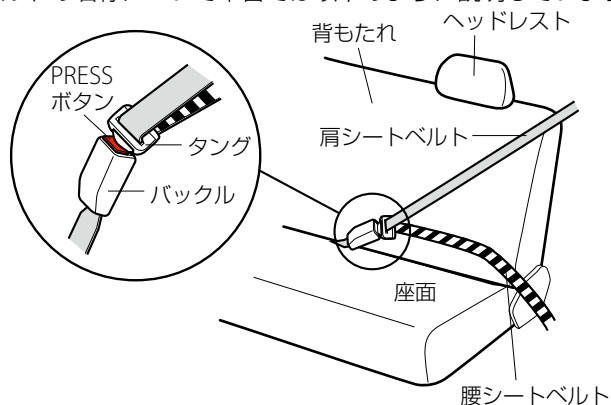
正面

本体カバー、ハーネスカバー類はグレードにより仕様が異なります。

本書内で使用している画像やイラストは、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

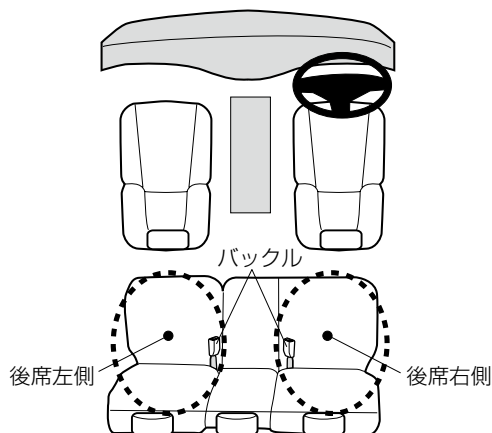
背面

ハーネスレバー
ハーネスバー
肩ハーネス
フック
肩ハーネス
肩ハーネス
ハンガー
ベース
ベース
前方
ベルトストッパー
リアカバー
(取扱説明書はリアカバーの内側に固定して保管してください)

車のシートベルトの名称

車のシートベルトの名称について本書では以下のように説明しています。

ヒント

本書では車のシートベルトのタングより上側を肩シートベルト、下側を腰シートベルトと呼んでいます。

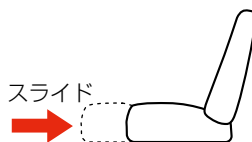
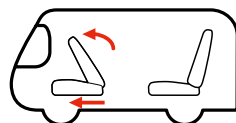
取付座席の名称

取付座席の名称について本書では以下のように説明しています。
(イラストは車内を上から見たものです。)

- 本品の取付けに使用するバックルがある方を**バックル側**と呼んでいます。

安全に正しく取付けをするために

車に本品を取付ける前に、作業スペースを確保してください。

- 取付作業は本品の持ち運びができ、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

- 取付作業は、前席を倒したり、スライドさせて、できるだけ車内の作業スペースを確保してください。
- 取付座席にスライド機能がある場合は、後ろにスライドさせてください。

警告

取付後はスライドを動かさないでください。シートベルトがゆるむことがあります。

取付けできるシートベルト

本品はヨーロッパ安全基準ECE規則No.16または同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトのみご使用頂けます。

3点式シートベルト

2点式シートベルト

ただし、使用できない車種がございます。
本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。また、取付ける車を替えられる場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。

■ 車種適合の確認方法

店頭で・・・「エールベベ　車種別適合表」
パソコンで・・・http://www.carmate.co.jp
ケータイで・・・http://db.carmate.co.jp/m/childmatching.html

ケータイの場合、右に示したQRコードからもアクセスできます。➡

QRコード

ご不明な点がございましたら、巻末に記載のカーメイトサービスセンターへお問い合わせください。

シートベルトの種類

シートベルトの種類による取付け時の注意事項を下記の表でご確認ください。

シートベルトの種類	シートベルトの特徴	本品使用時の注意事項	使用可否
ELR (緊急時ロック式巻取装置)機能付 腰ベルト側にELR機能があるものを除く。	自動で巻取られ、急ブレーキ、衝突時など急速に引かれるとロックされます。	取付け時には、シートベルトを急速に引かずゆっくりと引き出しながら取付けをしてください。	○
ALR/ELR (チャイルドシート固定)機能付	ELR機能の特徴に加え、ベルト巻取装置から全部引き出すとALR機能が働きシートベルトがロックされ、巻取ることしかできなくなります。全て巻取るとロックは解除されます。	ALR機能を作動させないように、シートベルトを必要な分だけ引き出しながら取付けを行ってください。	○
ALR (自動ロック式巻取装置)機能付	シートベルトを引き出し、止めた位置でロックされます。	シートベルトを途中でロックさせないように全て引き出してから取付けをしてください。	○
NR (マニュアル)方式	長さを手動で調整して使用します。	シートベルトを途中でロックさせないように全て引き出してから取付けをしてください。	○
その他	上記特徴にあてはまらないもの。	本品は使用できません。	🚫

取付けできない座席・シートベルト

⚠警告

車の装備による場合

- **エアバッグが装備されている座席**

  エアバッグが作動した際に、お子さまに強い力が加わって死亡や重傷に至る危険性があります。なお、エアバッグを無作動にできる場合は車の取扱説明書に従ってください。（サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。）

- **車の進行方向に対して横向きおよび後向きの座席**

  衝突の際に、お子さまが放出される危険性が高くなります。

- **他の同乗者の出入りを妨げる座席。**

  （片側スライドドアの入り口側座席など。）事故などの緊急事態にチャイルドシートが妨げになって脱出できないおそれがあります。

- **シートベルトに損傷がある座席**

  事故等の際に、本品ごとお子さまが投げ出されるおそれがあります。損傷がある場合は、自動車ディーラー等で交換してください。

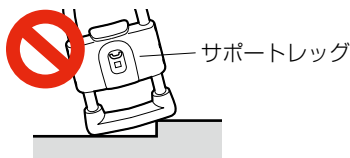
- **補助座席および幼児専用座席**
- **座席以外のピラーやドア等の車両構造物に本品が接触する座席**

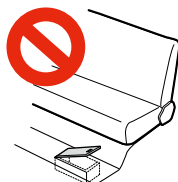
⚠警告

座席およびシートベルトの種類による場合

- **助手席**

  衝突時、他の座席より損傷を受ける可能性が高く危険です。

- **サポートレッグが接する車の床に1cm以上段差がある座席**

- **サポートレッグが車の床に届かない又は、短くしてもベースがういてしまう座席**

- **サポートレッグが接する車の床の部分が収納スペースや小物入れになっている座席**

- **2点式シートベルトの座席**

- **スポーツタイプシート、およびスポーツタイプシートベルトが装着されている座席**

  エールベベ車種別適合情報で取付け可能としている場合を除く。

- **シートベルトがついていない座席**

  本品の取付けができません。

- **パッシブシートベルト（ドアを閉めると自動的に装着されるシートベルト）の座席**

  本品の取付けができません。

- **腰シートベルト側にELR（緊急ロック式ベルト巻取装置）がある座席**

- **その他のシートベルト**

  10ページ「取付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト

- **タングストッパーが高い位置にある座席**

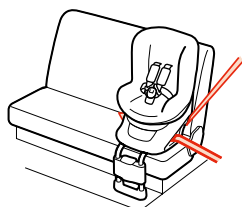
  タングストッパーが干渉し、締付けができません。

警告・注意事項　取扱上守るべき重要な項目ですので必ずお読みください。

⚠警告

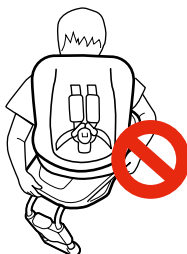
保管や未使用時

- **事故や落下により本品が強い衝撃を受けた場合は、本品の使用をおやめください。**
  外観上破損が見えなくても強度が下がっている場合があります。油性ペン等で本品に「廃棄」「事故品」等を明記のうえ廃棄してください。

- **お子さまが乗っていないときでも必ず車のシートベルトで本品を固定してください。**
  急ブレーキなどで本品が車内を転がり、事故につながるおそれがあります。

- **本品を改造しての使用、または本書に記載されていない取付けや使用は、しないでください。**
  本品の性能が十分に発揮できません。

- **本品にお子さまを乗せたまま持ち運ばないでください。**
  持ち運ぶ際に不安定になり落下のおそれがあります。（本品の正しい持ちかた→ 3ページ）

⚠注意

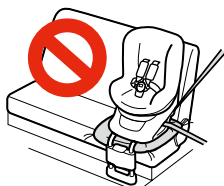
- **本品を持ち運びの際は、回転およびサポートレッグを必ずロックしてください。**
  （本品の正しい持ちかた→3ページ）

- **本品を回転させる際は逆さまや横にせず、必ずベース底面を平らな場所に置いてください。**

- **サポートレッグだけを持っての持ち運びはしないでください。**

⚠警告

ご使用前に

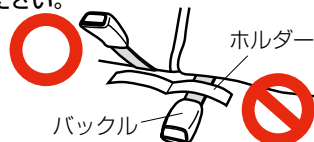
- **サポートレッグを収納したまま本品を取付けないでください。**

- **車のシートにクッションや座ぶとんを敷いて取付けしないでください。本品の性能が十分に発揮できません。**

- **本品のカバーやクッションを外しての使用、または当社指定以外のカバーを取付けるなど付加しての使用はやめてください。**

  本来の性能が十分に発揮できません。

- **本品は必ず車のシートベルトで固定してお使いください。**

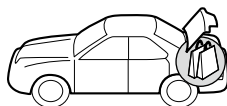
  シートベルト以外で固定すると本品が脱落したり、衝突の際にお子さまが投げ出されて危険です。市販のベルトやロープ等は、使用しないでください。

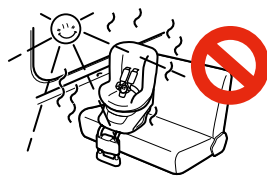
- **バックルをホルダー等から外して、取付けてください。**

- **シートベルトキーパーを外してから取付けてください。**

⚠注意

- **本品は、車内専用品のため、車外では使用しないでください。**

  破損や怪我の原因となります。

- **衝突の際にお子さまや他の同乗者に傷害を与える可能性のある荷物などは適切に固定するか、トランク内に収納するようにしてください。**

- **本品を直射日光にさらさないでください。**

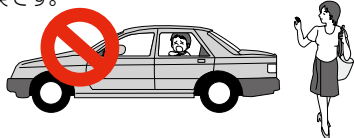
  金属部や樹脂部が熱くなり、やけどをするおそれがあります。また陽射しが強い日には熱くないことを確認してからご使用ください。

⚠警告

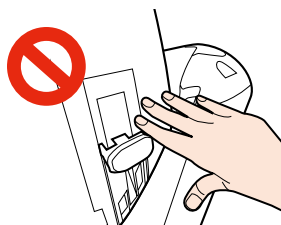
ご使用中に

- **本品の取付確認後に取付座席をスライドまたはリクライニングはしないでください。**

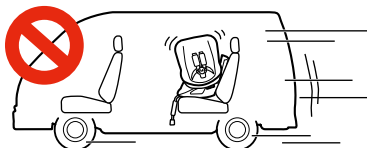
  シートベルトがゆるむことがあります。

- **お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。**

  決してお子さまを車内に置き去りにしないでください。特に夏場は車内が高温になり大変危険です。

- **適応条件に合わないお子さまには使用しないでください。**

- **本品を回転、リクライニングするときは可動部に手をかけないでください。**

- **走行中に本品の取付けや操作をしないでください。**

  本品の取付け状態の確認および操作は、安全な場所に停車して行ってください。

- **本品のシートを横向きに回転したまま走行しないでください。**

- **本書に従い正しい乗車姿勢でお使いください。**

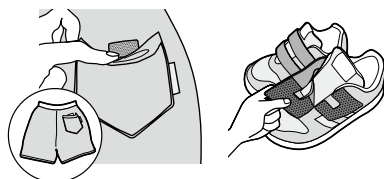
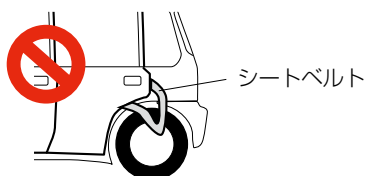
  お子さまを立たせたり、中腰、正座をした状態で使用しないでください。

- **お子さまの上着やズボンなどにおもちゃなどが入ってないことを確認してください。**

  お子さまと本品の間に物がはさまり、ケガの原因となります。

⚠注意

ご使用中に

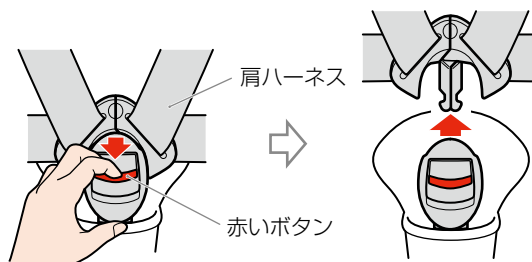
- **本品の取付けや使用の際に本品や、シートベルト等をドアまたは座席の間等に挟まないようにしてください。**
- **お子さまの靴や衣服の面ファスナーが本品のカバーに触れる(引っかかる)と生地が傷むおそれがあります。**

ヒント

- お子さまのために休憩をとりましょう。長時間同じ姿勢でいると、ぐずる要因になります。
- 走行中は、お子さまに飲食物を与えるのはひかえてください。万一の時に、お子さまが喉に飲食物を詰まらせることがあり危険です。

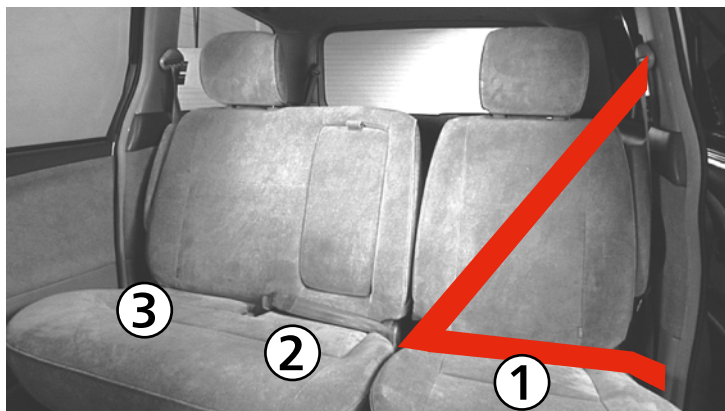
ご使用後に

車のシートに取付け跡が残る場合があります。

緊急事態には

事故などの緊急事態には、バックルの赤いボタンを下に押して肩ハーネスをお子さまの腕からはずし、すみやかに安全な場所へ避難してください。

車への取付方法

はじめに

本品を車に取付ける前に、必ず車種適合をご確認ください。
また、取付ける車を替えられる場合は、再度車種適合をご確認の上、ご使用ください。

本書では２列目左側①の座席で取付けの説明をしています。

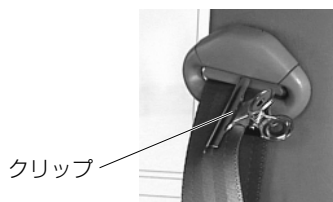
■ 中央②に取付ける場合

車のシートベルトが本書とは左右逆の場合がありますので、その際は左右対称に取付けてください。

■ 右側③、または3列目右側に取付ける場合

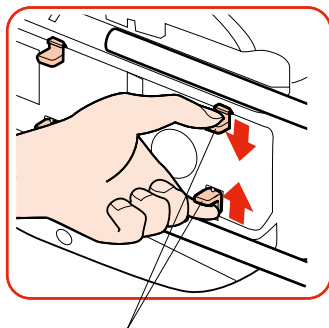
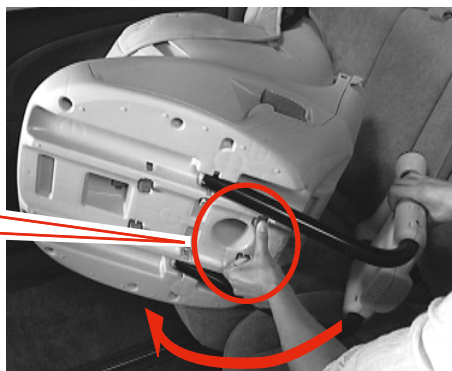
車のシートベルトが本書とは左右逆になりますので、左右対称に取付けてください。

ヒント

あらかじめクリップ等で、シートベルトを留めておくと、取付作業がしやすくなります。
取付作業終了後は、必ずクリップを外してください。

STEP1 サポートレッグの調節

1 **ベース底面のサポートレッグ解除レバーをつまみながらサポートレッグをベース背面から回転させ固定します。**

注意

作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせて作業してください。
指をはさんだり、周囲のものにぶつけないように注意してサポートレッグを回転させてください。

固定した後は本体を手で支えてください。本体を横向きにして車のシートに置いたままにすると落下の原因になります。

⚠警告

サポートレッグは確実に固定してください。固定されていないと本来の安全機能を発揮できません。

2 ベースを車の座面と背もたれに押しつけるように置きます。

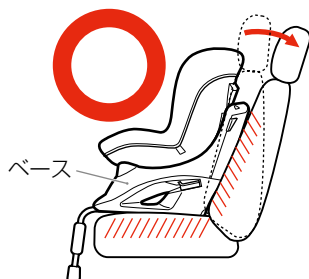
車のヘッドレストが本品に干渉する場合はヘッドレストを取外してください。

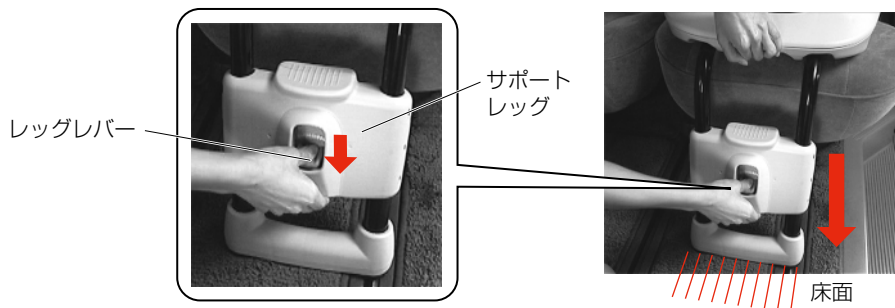
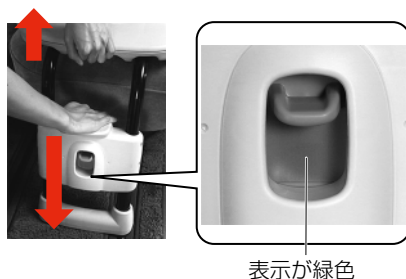
ヒント

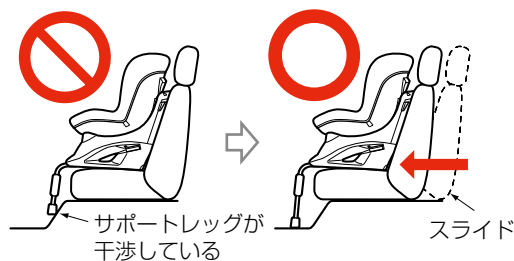
リクライニングの段数によりシートが車の座席に干渉することがあります。

車のシートとベースに隙間ができる場合

対処方法

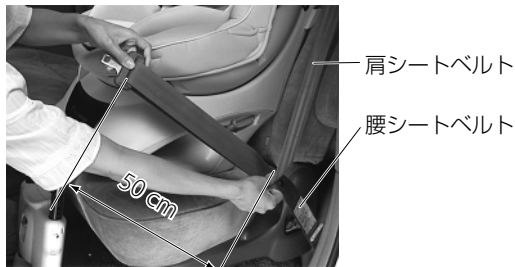
車のシートにリクライニング機能があれば、リクライニングを調節してベースを密着させてください。

車のシートにリクライニング機能がない場合は、ベース底面を座面に密着させてください。

3 レッグレバーを握り、サポートレッグが車の床面に接するように調節します。

4 ロックされるまで(表示が緑色になるまで)少し伸ばします。

⚠ 警告

- サポートレッグが座席のスライドレールに当たる場合は、必ず車メーカー純正のフロアマットを敷いてください。
- スライド機能がある座席でサポートレッグが車内の凹凸やエアコンの吹き出し口等に干渉する場合は、干渉しない位置まで車のシートのスライドを動かしてください。

- サポートレッグの使用範囲以上に伸ばさなければならない座席には使用できません。他の座席に取付けてください。

STEP2 シートベルトの取付け

1 **シートベルトを引き出し、腰シートベルトと肩シートベルトを50cm程度重ね合わせます。**

ヒント

本書では車のシートベルトのタングより上側を肩シートベルト、下側を腰シートベルトと呼んでいます。

2 **重ね合わせたシートベルトがねじれないようにシートベルト通し部に通し、バックル側へ引き出してタングをバックルに差し込みます。**

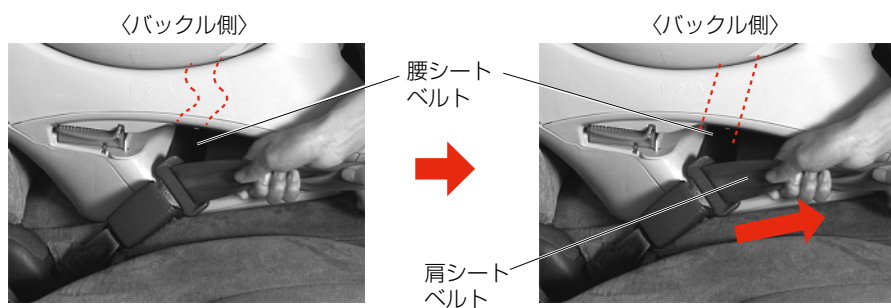
〈バックル側〉

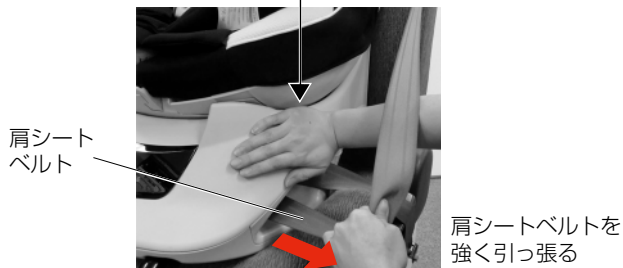
⚠警告

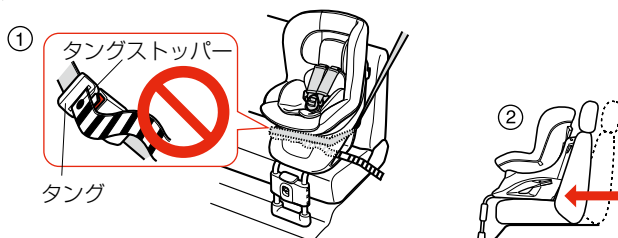
バックル側のベルトストッパーは使用しないでください。

肩シートベルトをシートベルトガイドにかけないでください。

車への取付け方法

3 肩シートベルトを引っ張り、腰シートベルトのたるみを取ります。

STEP3 シートベルトの締付け

1 バックルの反対側で本品のベースを手でおさえながら、肩シートベルトを矢印方向に強く引っ張ります。

⚠警告

スライド機能がある座席でタングストッパーがタングに干渉して、シートベルトを強く引っ張ってもしっかり固定できない場合は(①)、車のシートのスライドを動かしてから(②)、再度取付けてください。

2 肩シートベルトを引っ張ったまま、ベルトストッパーを下げ(①)、ベルトストッパーの奥まで肩シートベルトを差し込み(②)、ベルトストッパーを「カチッ」と音がするまで奥へ押し込み、確実にロックします(③)。

① ベルトストッパーを下げる。

② ベルトを奥まで差し込む。

③ ベルトストッパーを押し込み、確実にロックする。

ドアが開閉しない座席に取付ける場合は（2ドア車、3列目シートなどに取付けする場合）

車のドアが開閉しない座席の場合は、次の3つの例の中から、チャイルドシートを最も固定できる方法で取付けてください。
例2、3のようにシートを後向きにして取付けたい場合は、「回転操作方法」
（→27 ページ）をご覧ください。

<例1> シートを前向きで取付ける

本体を下に押しつけながらベルトを引っ張る。

<例2> シートを後向きで取付ける

シートの前から背もたれに押しつけながら引っ張る。

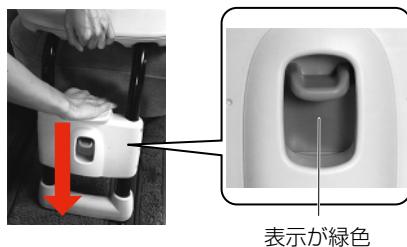
<例3> シートを後向きで取付ける

本体を下に押しつけながら取付座席の隣の座席から引っ張る。

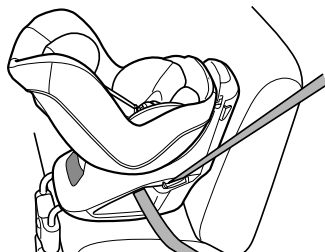
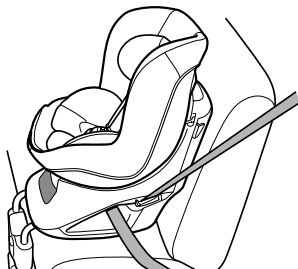
取付後の確認方法

正しく取付けられていない場合は、最初からやりなおしてください。

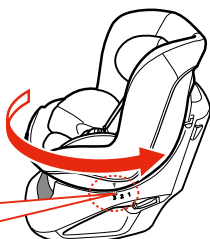
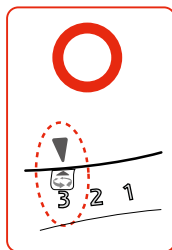
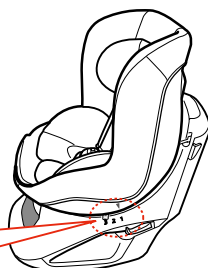
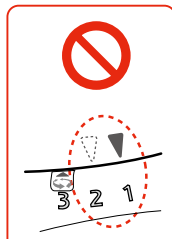
サポートレッグが浮いている場合は

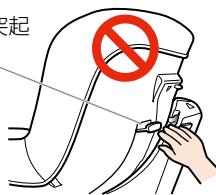
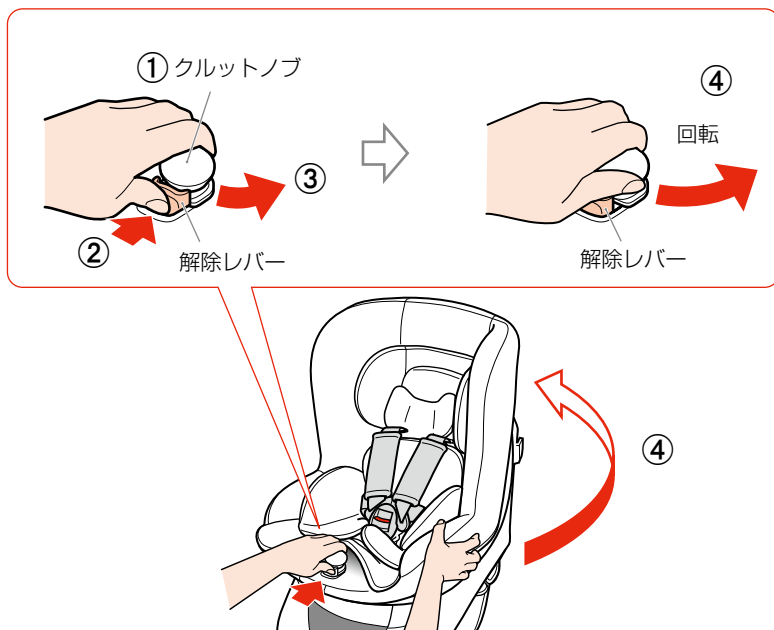
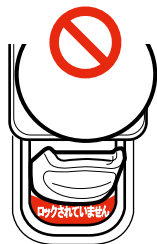
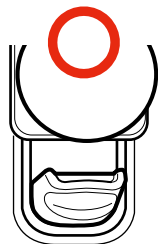
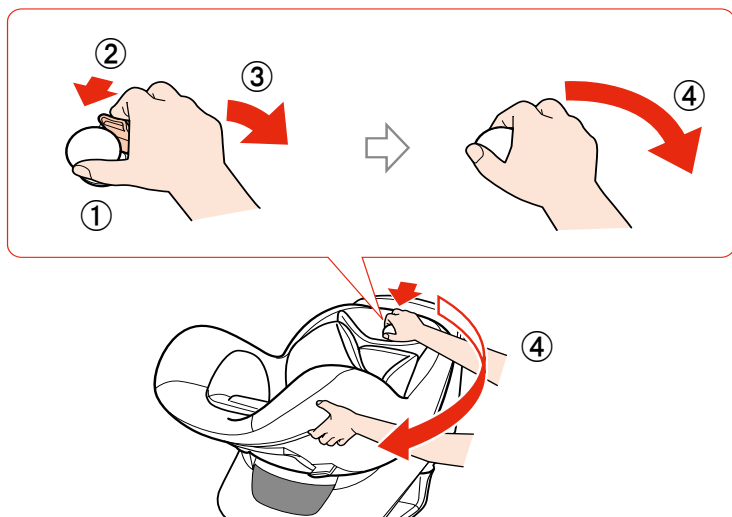
サポートレッグが車の床面に接するまで伸ばしてください。適正な位置に調節されない場合は、少し伸ばして調節してください。

回転の操作方法

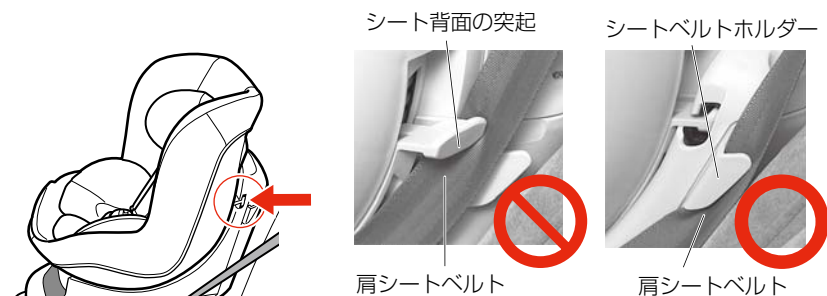
本品のシートは360 ˚回転し、前向きと後向きでのみ固定することができます。

後向き

注意

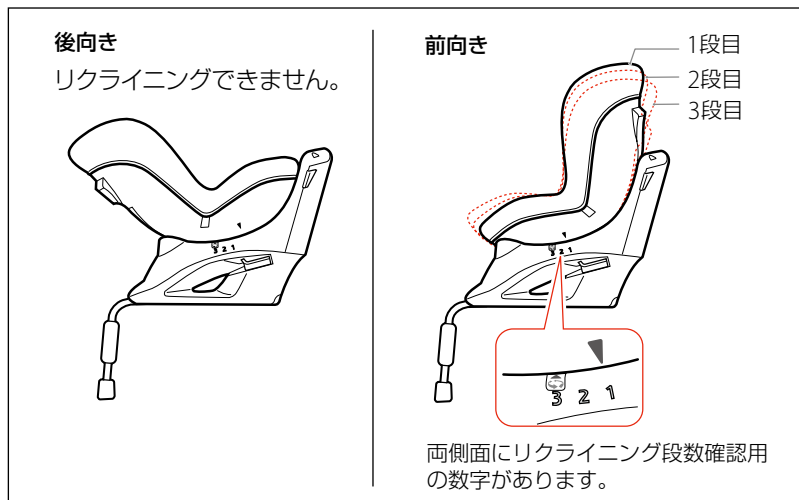
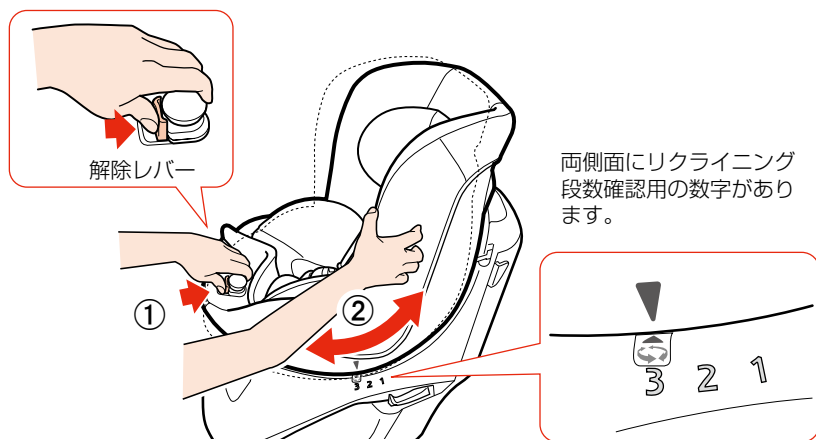
シートを回転させる時は、必ず『リクライニングを3段目の位置』にしてください。
リクライニングが1段目、2段目の位置では回転できませんので、ご注意ください。
（リクライニングの操作方法→30ページ）

回転できます

回転できません

⚠警告

シート背面の突起はシートとベースを接続する部品です。手や物をかけた状態で回転動作を行わないでください。怪我や動作不良の原因となります。

1 クルットノブを握りながら(①)解除レバーを押し(②)、シートを少し回転させる(③)とロックが解除されます。ロックが解除されたら解除レバーから手を離して回転させます(④)。

2 そのまま後向きの位置までシートを回転させるとロックが掛かります。

3 **後向きから回転させる時も、クルットノブを握りながら(①)解除レバーを押し(②)、シートを少し回転させる(③)とロックが解除されます。ロックが解除されたら解除レバーから手を離して回転させます(④)。**

注意

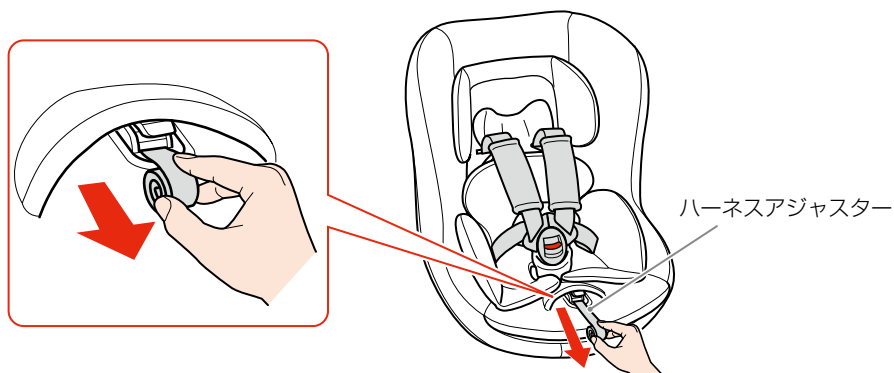
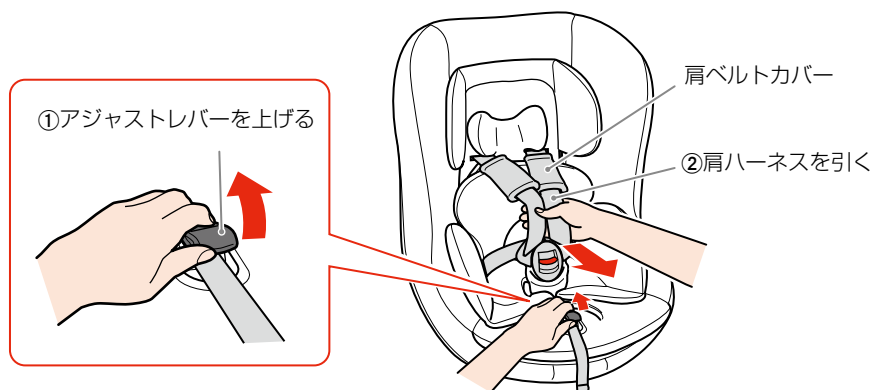
- シートを回転させる際、同乗者の方が手を出してシートとベースの間に指をはさまないよう注意してください。
- シートを回転させた時、車種によってはシート背面の突起が肩シートベルトに引っかかり、ベルトに傷をつける場合があります。引っかかる場合は、回転操作をする時だけ肩シートベルトをシートベルトホルダーにかけてご使用ください。

- 車種によりシートベルトがシートベルトホルダーにかからない場合があります。シートベルトロック機能(ALR)が作動している場合がありますので、作動しないように取付けし直してください。
(シートベルトの種類→10ページ)

リクライニングの操作方法

本品は3段階のリクライニングができます。後向きではリクライニングできません。
（出荷時には3段目の位置になっています。）

解除レバーを押し（①）、シートを前後にゆっくりスライドさせる（②）。

ヒント

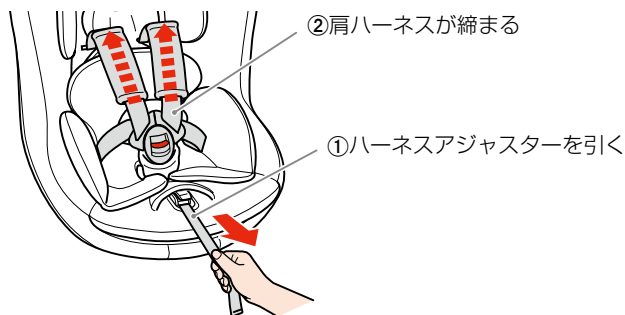
後向きではリクライニングできません。

肩ハーネスのゆるめかた

1 ハーネスアジャスターを取出します。

2 アジャストレバーを上げながら(①)、両方の肩ハーネスを引くと(②)、肩ハーネスがゆるみます。

ヒント

ベルトカバーを引いても、肩ハーネスをゆるめることができません。(肩ベルトカバーはシートの裏側で固定されています)

肩ハーネスの締めかた

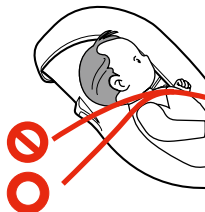
1 ハーネスアジャスターを引くと(①)、肩ハーネスが締まります(②)。

肩ハーネスの調節方法

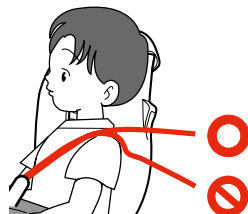
本品はお子さまの成長に応じて、肩ハーネスの高さを変えて使用します。
出荷時は付属品、ハーネス位置は新生児用に合わせてあります。

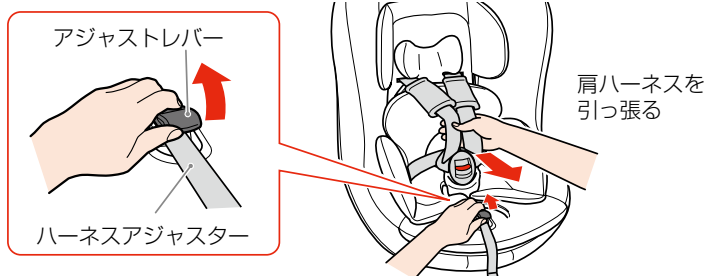
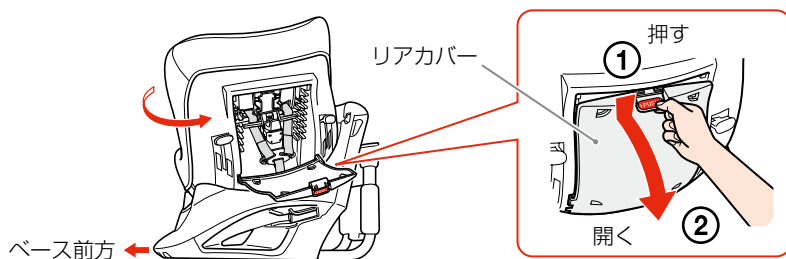
⚠警告

本品をご使用になる前に必ずお子さまの体格に合った肩ハーネスの高さに調節してください。正しいハーネスの高さに調節されていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

肩ハーネスの調節はお子さまを降ろした状態で行ってください。
下記のイラストを参考にお子さまの肩に一番近く、お子さまの肩の高さからハーネスが背もたれに対して垂直になるように調節します。

後向き

背もたれに対して垂直な高さにできない場合、後向きではお子さまの肩より下の肩ハーネスの高さに調節します。

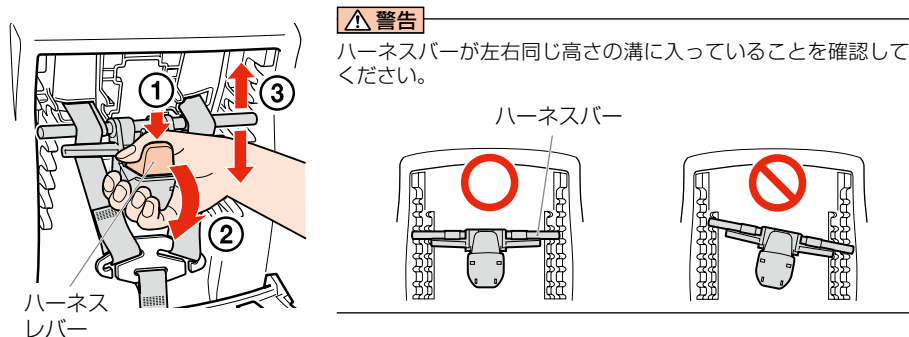
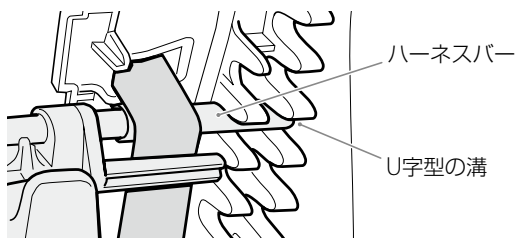
前向き

背もたれに対して垂直な高さにできない場合、前向きではお子さまの肩より上の肩ハーネスの高さに調節します。

1 **ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら、肩ハーネスを引っ張り、ハーネスをゆるめます。**

2 **シートの背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。**

注意

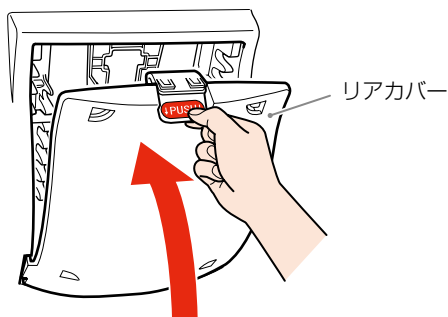
リアカバーを開けたまま回転操作をしないでください。リアカバーが本体の台座部分にひっかかり、破損するおそれがあります。

3 **ハーネスレバーを握ったら(①)手前に倒し(②)、そのまま適正な位置にハーネスの高さを合わせます(③)。**

⚠警告

ハーネスバーが左右同じ高さの溝に入っていることを確認してください。

4 ハーネスバーをU字型の溝に確実に入れます。

⚠警告

ハーネスバーが左右のU字型の溝に確実に入っていることを確認してください。

5 リアカバーを閉じ、シートを回転させロックします。

お子さまの乗せ降ろし

新生児(生後1 ヶ月以内)に使用する場合は特に次の事柄をお守りください。

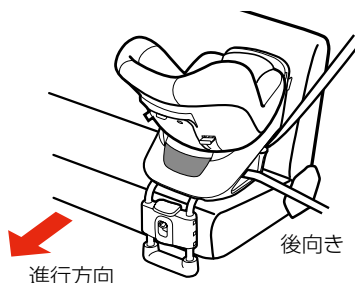
- 体重が2500g未満の新生児には使用できません。
- チャイルドシートにお子さまを乗せている間は必ず保護者の方がお子さまから目をはなさないようにしてください。
- お子さまの負担を考えて1時間ごとを目安に休憩をおとりください。

シートの向き

■ 体重：2500g～13kg

車の進行方向に対して後向きにします。

⚠警告

お子さまの体重が9kgを超えるまでは必ず後向きで使用してください。

■ 体重：9kg以上13kg未満

後向き、前向きのどちらの向きでも使用できます。

■ 体重：9kg～18kg

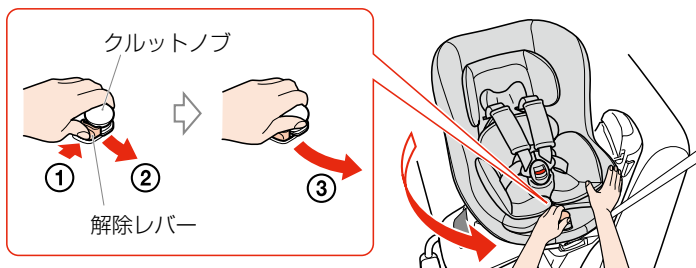
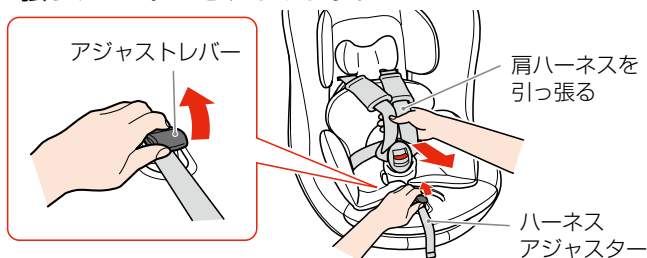
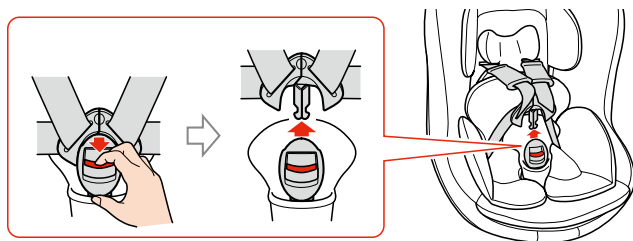
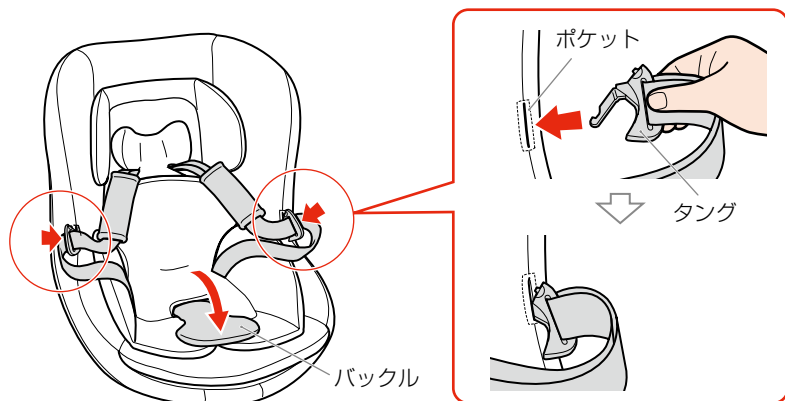
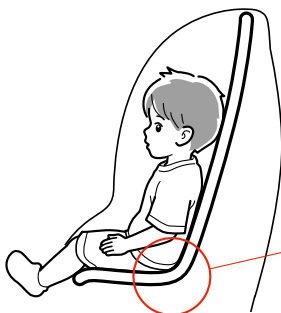
車の進行方向に対して前向きにします。

お子さまの乗せかた

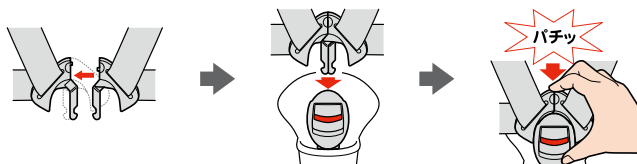
ネックサポート、ヒップサポートは、お子さまの体重が7Kg未満の場合にお使いください。

⚠警告

- 本品をご使用になる前に必ずお子さまの体格に合った肩ハーネスの高さに調節してください。正しいハーネスの高さに調節されていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。
- お子さまを乗せる時は、極端な厚着にしないでください。厚着をしていると、ハーネスがしっかり拘束できない場合があります。
- ネックサポート、ヒップサポートは、お子さまの体重が7Kg未満の場合にお使いください。お子さまの体重が7Kg以上の場合でも、お子さまをシートに座らせたときに肩ハーネスにたるみがあるときは、ヒップサポートを使用してください。

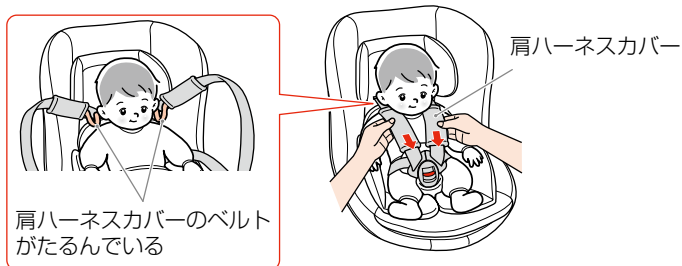
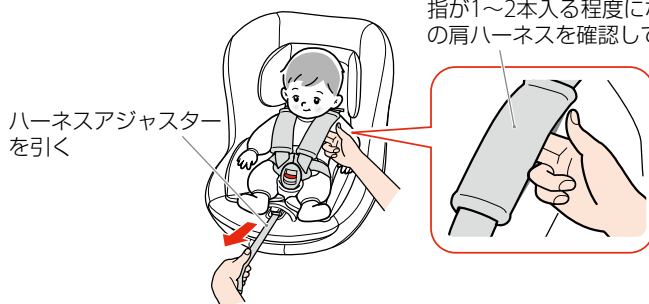
1 リクライニングを3段目にして、シートを回転させ横向きにします。

2 ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら、肩ハーネスを引っ張り、ハーネスをゆるめます。

3 バックルの赤いボタンを下に押し、タングを外します。

4 タングをタングポケットに入れ、バックルを倒し、お子さまを適正な位置に座らせます。

■ 体重：2500g〜13kg　　■ 体重：9kg〜18kg

5 お子さまの腕を肩ハーネスに通します。

6 左右のタングをかさね合わせバックルに差込みます。

左右のタングをかさね合わせて差し込む。

ヒント

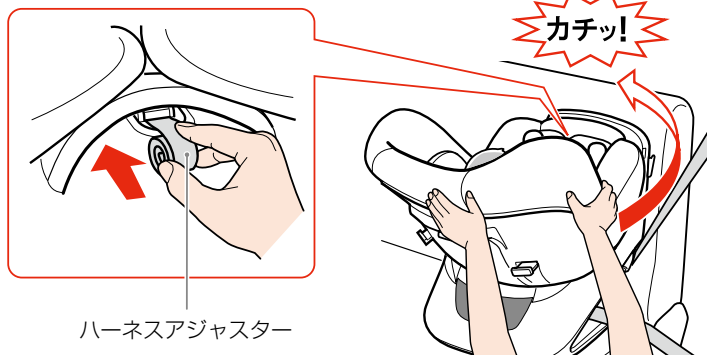
タングを重ね合わせないとバックルに差込めません。(安全基準により、タングを重ね合わせないとバックルに差込めない構造になっています。)

7 お子さまの足や腕の位置、ハーネスカバーなどを整えてください。

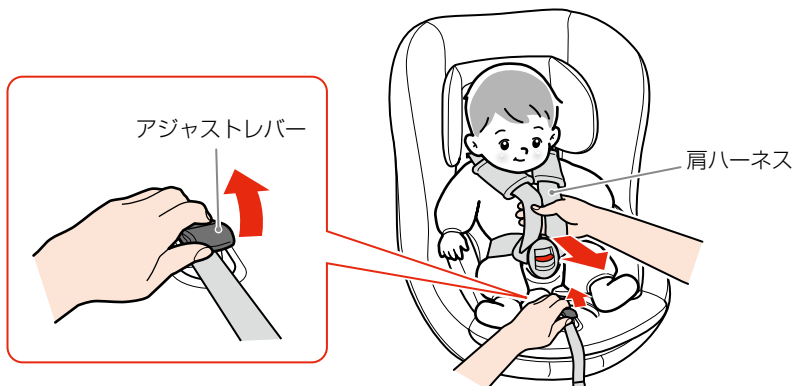
肩ハーネスカバーのベルトにたるみがなくなるまで肩ハーネスカバーを下方向に引っ張ってください。

8 お子さまの胸部と肩ハーネスの間に大人の指が1～2本入る程度までハーネスアジャスターを引きます。

⚠警告

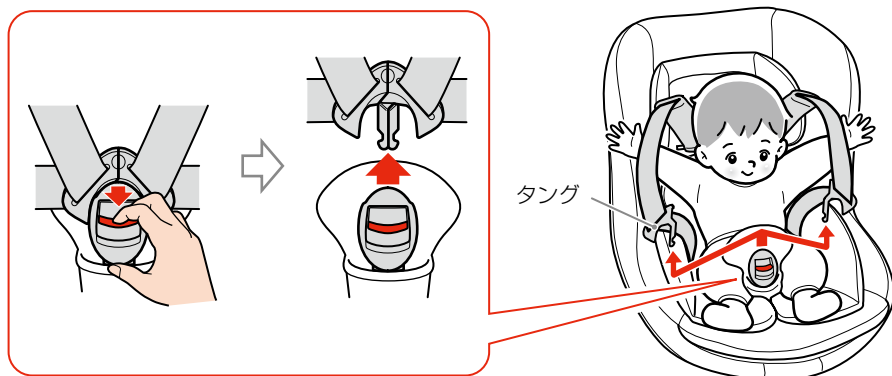
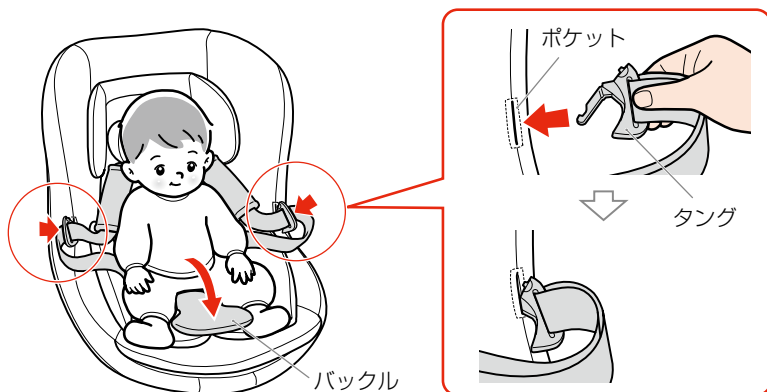
ハーネスは正しく締め付けてご使用ください。正しい締め付けがされていないと、衝突時お子さまを適切に保護できず、死亡や重傷に至るおそれがあります。

9 ハーネスアジャスターを収納し、体重に応じた向きにシートを回転させ、ロックします（シートの向き→35ページ）。

（シートの向き→35ページ）

お子さまを乗せたあとの確認方法

お子さまの降ろしかた

1 **シートを回転させ横向きにします。**
ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます

2 **ハーネスアジャスターを収納します。**

3 **バックルの赤いボタンを下に押し、タングをバックルから外し、肩ハーネスを腕から外します。**

4 タングをタングポケットに収納し、バックルを前に倒します。

5 お子さまを降ろします。

ヒント

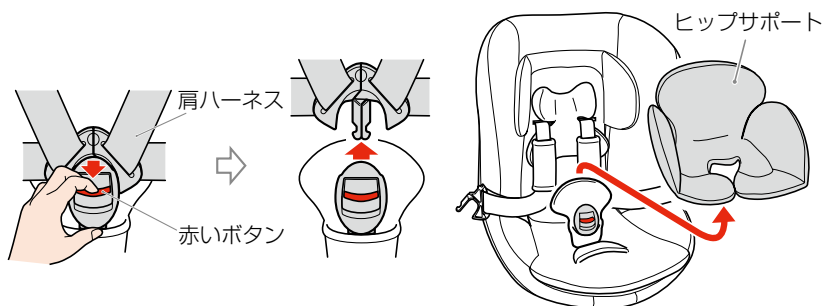
お子さまの首が据わっていない間は、首の後ろと、おしりの下を手で支えると降ろしやすくなります。

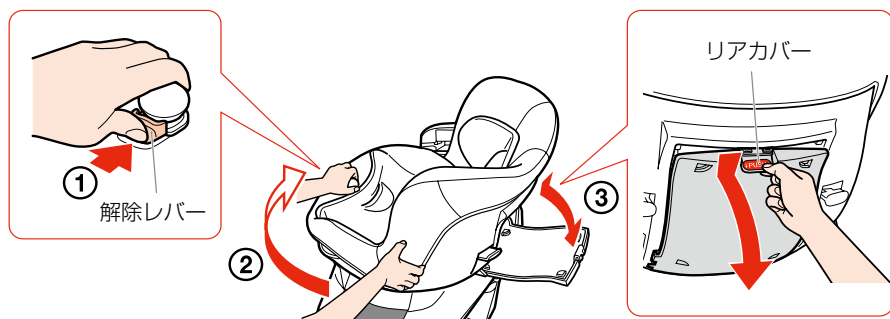
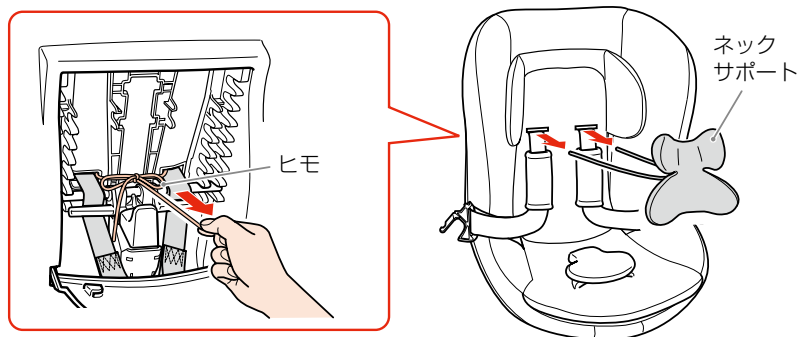
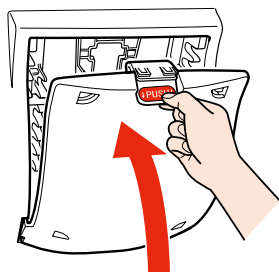
6 シートを回転させてロックします。

使用中・使用後の取扱方法

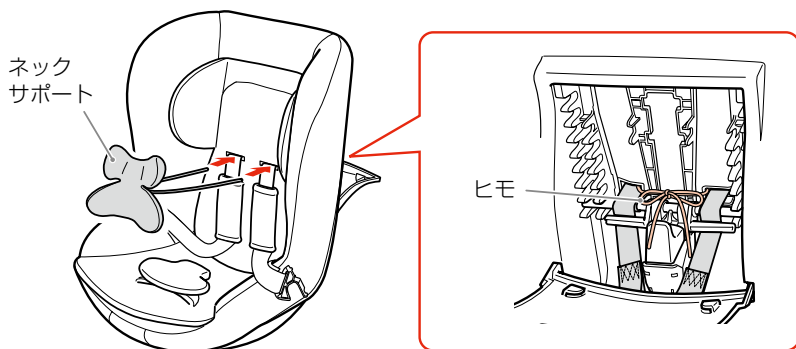
ヒップサポートの取外し・取付け方法

ヒップサポート、ネックサポートはグレードにより仕様や付属品が異なります。

タングをバックルから外すとヒップサポートの付け外しができます。

ネックサポートの取外し方法

1 シート背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

2 リアカバー内のヒモをほどき、ネックサポートを取り外します。

3 リアカバーを閉じます。

ネックサポートの取付け方法

1 シート背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

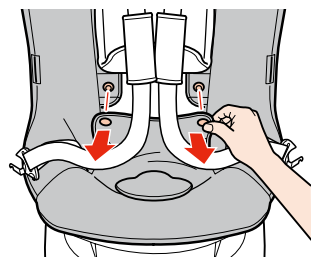
2 ネックサポートを取付けます。

3 リアカバーを閉じます。

本体カバーの取外し方法

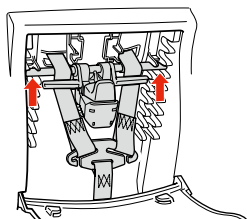
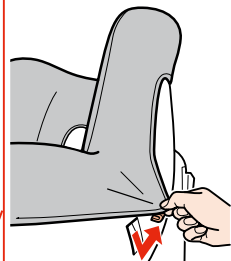
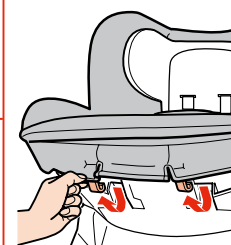
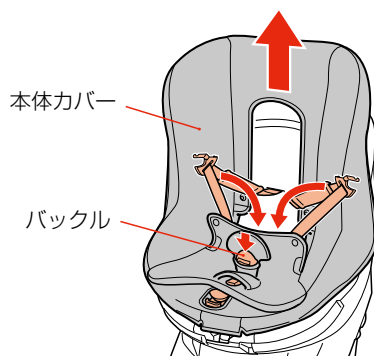
カバー類はグレードにより仕様や付属品が異なります。

1 **背もたれの下側2か所のホック①と、前側2か所のフック②、側面2か所のフック③を外します。**

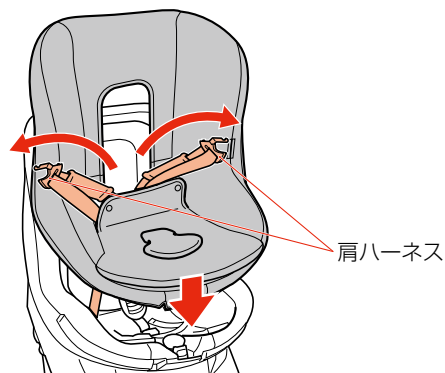
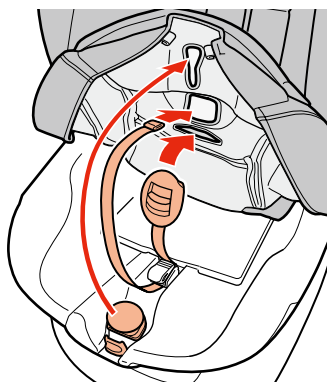
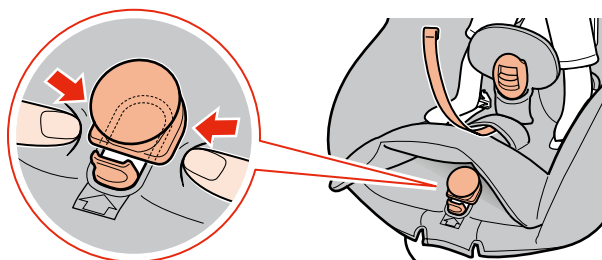
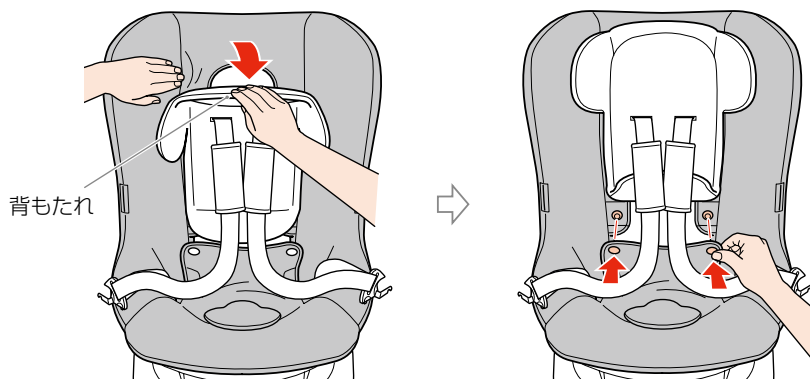
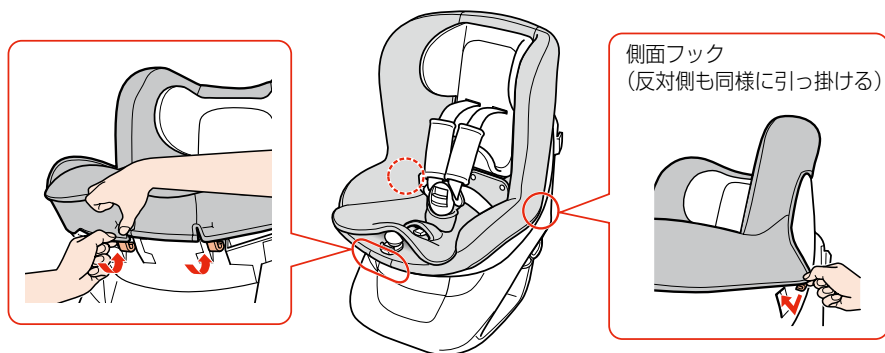
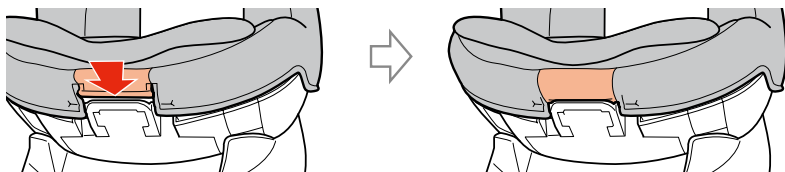
① 背もたれホック（2か所）

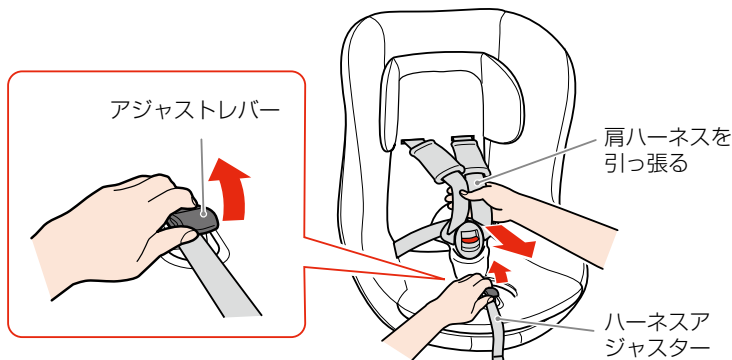
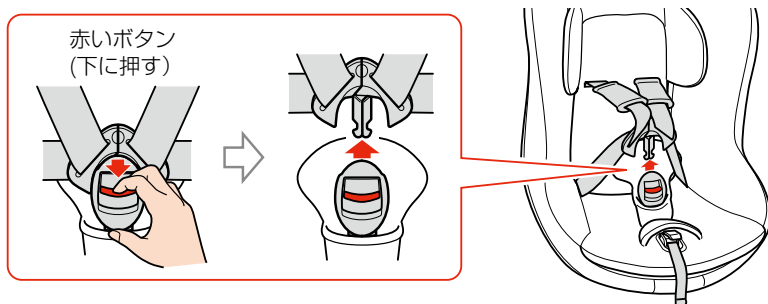
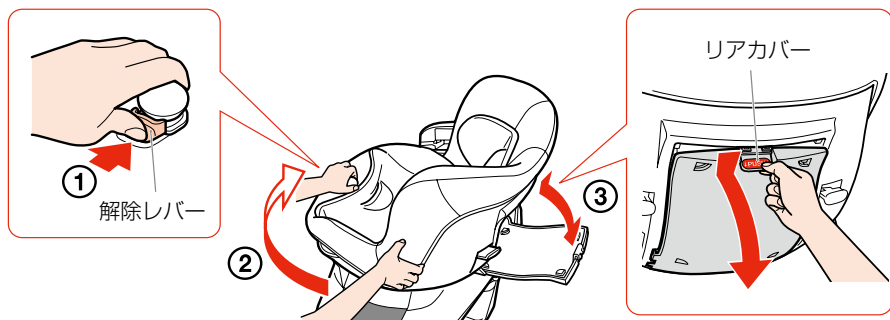
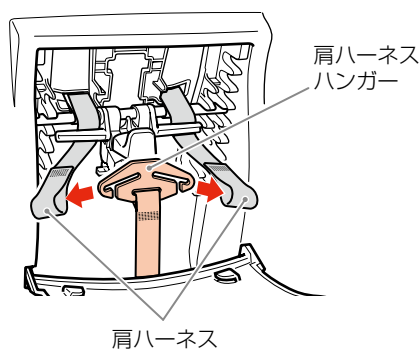
③ 側面フック（左右）

② 前側フック（2か所）

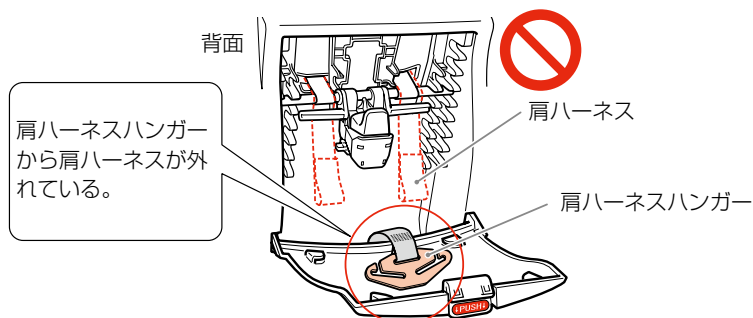
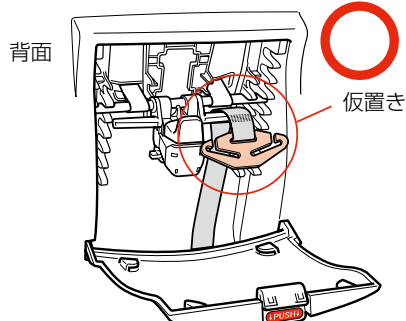
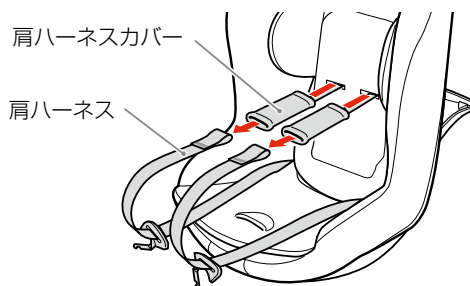
ヒント

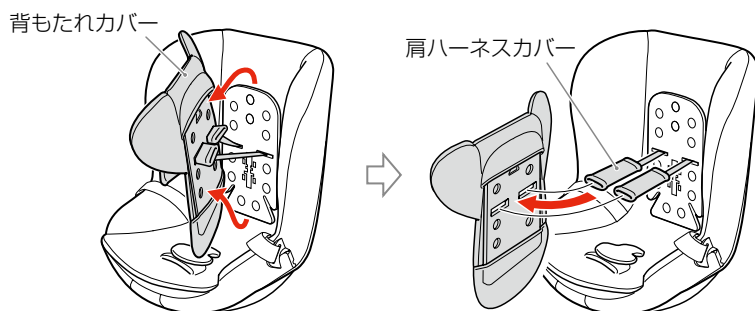
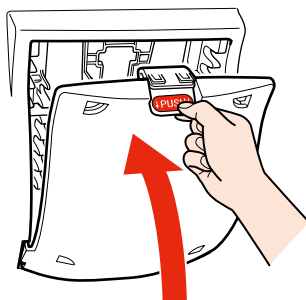
背もたれホック①が取外しにくいときは、リアカバー内のハーネスバーを上へ移動してください。

2 **本体からカバーをはがし、ハーネス通し穴からバックルを引き抜きます。**

本体カバーの取付け方法

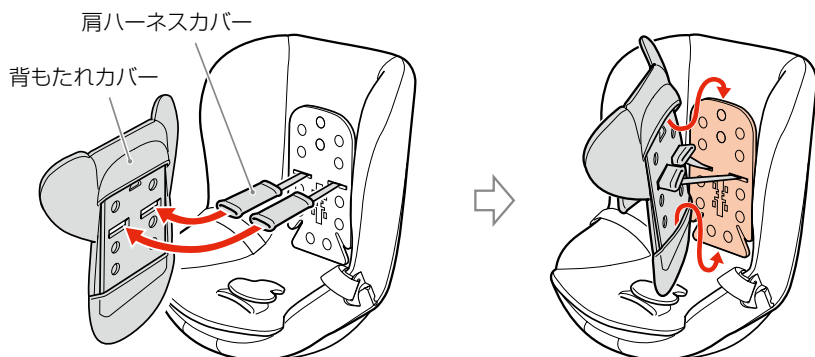
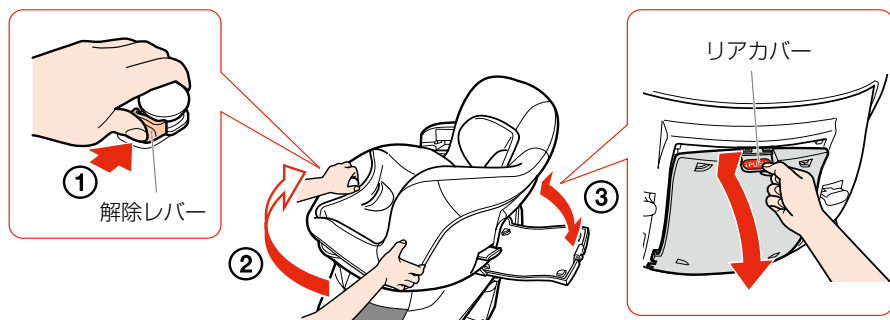
カバー類はグレードにより仕様や付属品が異なります。

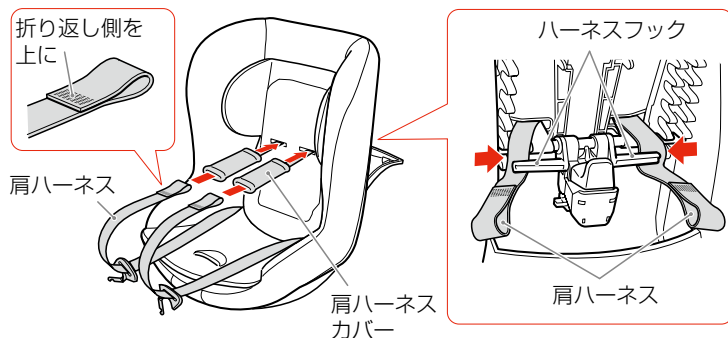
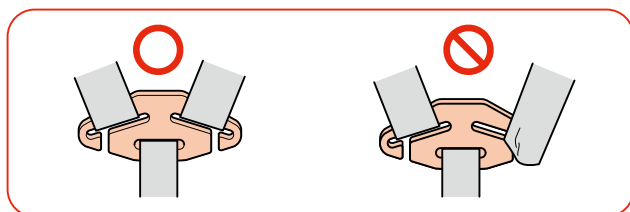
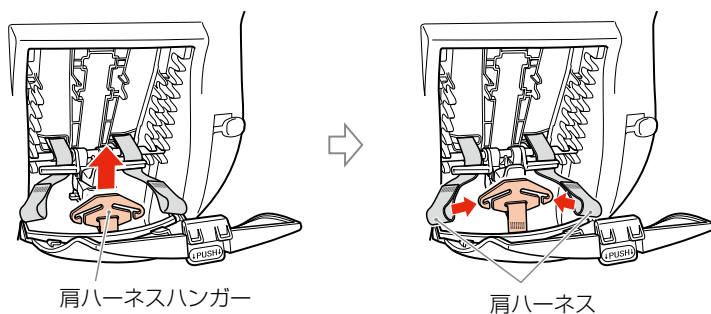
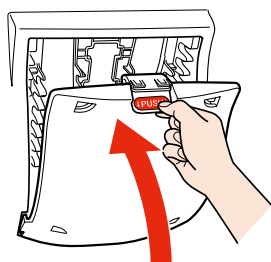
1 本体にカバーをかぶせて置く。

2 バックルやハーネスアジャスター、クルットノブをカバーのそれぞれの穴に通します。

3 クルットノブの下側にある樹脂板に生地を挟み込みます。

4 背もたれをめくり、カバーの外側に出し、左右のホックを留めます。

5 外側のフック4か所を本体に引っ掛けます。

6 前側の生地を本体のすき間に差し込みます。

背もたれカバーの取外し方法

1 ハーネスアジャスターを取出し、アジャストレバーを上げながら肩ハーネスを引っ張り、肩ハーネスをゆるめます。

2 タングをバックルから外します。

3 シート背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

4 肩ハーネスを肩ハーネスハンガーから取外します。

ヒント

- 肩ハーネスハンガーから肩ハーネスを外した状態でハーネスアジャスターを引くと、肩ハーネスハンガーが奥に入り込んでしまいます。

- 肩ハーネスハンガーからハーネスを外した際は(カバー洗濯時等)下記のように仮置きすると肩ハーネスハンガーが奥に入り込むことを防止できます。

5 本体正面の肩ハーネスカバーから肩ハーネスを引き抜きます。

6 背もたれカバーを外します。

肩ハーネスカバーは外せませんので、背もたれカバーの穴から肩ハーネスカバーを引き抜いてください。

7 本体カバーを取外したら、リアカバーを閉じます。

背もたれカバーの取付け方法

1 肩ハーネスカバーを背もたれカバーの穴に通し、背もたれカバーを取付けます。

2 シートの背面が見えるように横向きにし、リアカバーを開きます。

3 肩ハーネスを肩ハーネスカバーに通し、肩ハーネス通し穴に通します。

肩ハーネスは、図のようにハーネスフックの下へ通してください。

4 肩ハーネスを肩ハーネスハンガーにかけます。

5 リアカバーを閉じます。

お手入れのしかた

⚠警告

本品の樹脂部分やハーネスを洗浄する際に、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。破損につながるおそれがあります。

洗濯上の注意			
手洗イ 30 中性	30℃以下の液温で手洗いしてください。	ドライ（×）	ドライクリーニングはしないでください。
エンソサラシ（×）	塩素系漂白剤による漂白はできません。	（×）	ねじり絞りは避けてください
低	アイロンは低温であて布をして、表面からかけてください。		形をととのえてから陰干しし、よく乾かしてください。

注意

- 肩ハーネスカバーは洗濯できません。
- ネックサポート、背もたれカバーを洗濯する際は、中のクッションを取出してください。クッションが汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を布などに塗布し、水気をよくしぼってから拭き取ってください。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

ネックサポート

背もたれカバー

- 破損の原因になりますので、クッションを強く引っ張らないでください。

ヒント

本品はクッション及び、カバー類にウレタンフォームを使用しています。ウレタンフォームの特性上、変色する場合がありますが、ご使用上の問題はございません。

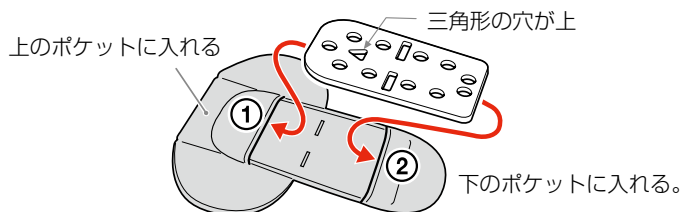
クッションの戻しかた

■ ネックサポート

ネックサポート裏側の開口部からクッションを入れます。

①右側の上から開口部にクッションを入れる　②下を入れる　③左側も同様に入れる

■ 背もたれカバーのクッション

背もたれカバー裏側の上下のポケットにクッションを入れます。

注意

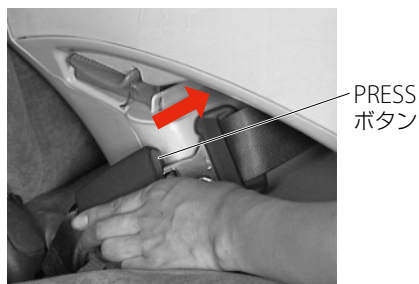
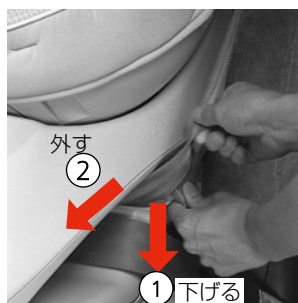
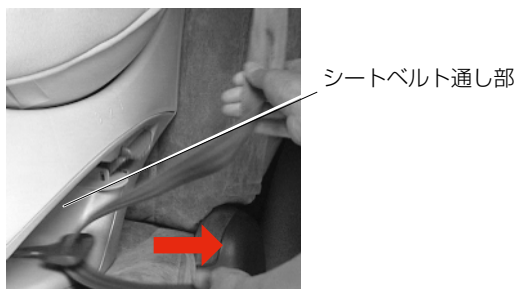
クッションの向きに注意してください。

ヒント

クッションを軽く折り曲げると入れやすくなります。

車からの取外し方法

1 シートが前向きにロックされていることを確認してください。

2 バックルのPRESSボタンを押し、タングを外します。

3 ベルトストッパーを下げて(①)ベルトストッパーからシートベルトを外します(②)。

4 シートベルト通し部からシートベルトを取出します。

5 **サポートレッグを一番短くします。本品を横に寝かせてサポートレッグ解除レバーをつまみながらサポートレッグをベース前面から回転させ背面にしっかりと固定します。**

注意

サポートレッグを一番短くしないと背面にしっかり固定できず、本品の破損や変形などの原因になります。

ヒント

作業するスペースを十分に確保し、指をはさんだり、周囲のものにぶつけないように注意してサポートレッグを回転させてください。

6 **本品をおこし、正しい持ち方で運んでください。**

（本品の正しい持ちかた→3ページ）

製品仕様

製品サイズ	H710×W470×D650mm （リクライニングが1段目、サポートレッグを収納時）
製品質量	13.0kg

製品材質

本体材質	ポリプロピレン（一部ポリアセタール、ナイロンなど）
本体カバー・ヒップサポート	ポリエステル/ウレタンフォーム
本体クッション	発泡ポリスチレン

よくあるご質問

お客様からのお問い合わせが多いご質問を掲載いたしました。
「よくあるご質問」をご覧になっても解決しない場合は弊社サービスセンターへお問い合わせください。

	状　況	対処方法	参照ページ
取付け	なぜ助手席に取付けてはいけないの?	法規制では取付不可ではありませんが、衝突時に他の座席よりも損傷を受ける可能性が高く危険です。より安全な後部座席への取付をお願いします。	—
取付け	どの座席に取付けたらいいの?	後部座席に取付けできます。路上でのお子さまの乗せ降ろしや、運転席からお子さまの様子を伺いやすいなど、助手席側の方がより便利にご使用いただけると思います。(お車により取付けできない座席がございますので、詳細は店頭または弊社ホームページの適合情報をご確認ください。)	—
成長に応じた使用方法	後ろ向き取付けから前向き取付けに切り替えるタイミングは？	お子さまの体重が9kgを超えたら前向きでご使用可能です。ただし、13kgまでは可能な限り衝突時の安全性能の高い後向きでのご使用をおすすめします。(小さなお子さまは骨格が未熟であるため、衝突時の衝撃を背中全体で分散して受け止める後向きのご使用が安全です。)	6
成長に応じた使用方法	ネックサポート、ヒップサポートはいつまで使用できますか？	ネックサポート、ヒップサポートはお子さまの体重が7kg以上で、窮屈になった場合は取外してください。	36
ハーネス(ベルト)	ハーネス(ベルト)が短いのですが	お子さまの体重が7kg以上の場合はネックサポート、ヒップサポートを取外してください。	36
		体重７kg未満で、ハーネスが短い場合は以下の2点をご確認ください。	
		① お子さまは厚着をしていませんか？(極端な厚着は避けていただき、お車のエアコン等で温度を調整して下さい。また厚着をしているとハーネスがしっかり拘束できない場合があります。)	—
		②肩ハーネスは適切な高さに調節されていますか？(お子さまの肩位置に近く、背もたれに対して垂直な高さに調節してください。)	32

	状　況	対処方法	参照ページ
ハーネス（ベルト）	肩ハーネスハンガー（肩ベルトの調整金具）が、見当たらない。	肩ハーネスハンガーは、本品のハーネスアジャスターに縫い付けてあります。	8
		肩ハーネス（ベルト）が短く調節されている場合、下に入り込んでいると考えられます。肩ハーネスをゆるめると自動的に上がってきます。	31
	チャイルドシートから子供が抜け出そうとしますが、抜け出せないようにする商品はありませんか？	弊社ではお取扱いがございません。（緊急脱出時の妨げになるため） 下記に抜け出そうとする要因とアドバイスを記載いたしましたので、参考になさってください。	
		①お子さまは暑がっていませんか？ チャイルドシートに乗る時は厚着は避けていただき、お車のエアコン等の温度調節をお試しください。	―
		②肩ハーネスは適切な高さに調節されていますか？ 成長に応じた適切な高さに調節されていないとお子さまが窮屈に感じられる場合があります。お子さまの肩位置に近く、背もたれに対して垂直な高さに調節してください。	32
		③ネックサポート、ヒップサポートはお子さまの体重が7kg以上で、窮屈になった場合は取外してください。	36
		④お子さまは飽きていませんか? 長時間同じ姿勢でいるとぐずる原因になります。 適度な休憩を取るなど、気分転換の心がけをお願いします。	―
品番 / ロット番号（製造番号）	品番やロット番号（製造番号）はどこに記載されていますか？	本体のベース背面のシールに記載されております。	―
お手入れ方法	カバーの洗濯方法は？	液温は、30°Cを限度とし、弱く手洗いすることをおすすめします。	52
パーツ購入	替えカバーなどを購入できますか？	替えカバーやパーツは部品としてご購入いただけます。 ご購入をご希望の場合は、お手数ですが品番をご確認の上、弊社サービスセンターへお問い合わせください。	裏表紙

	状　況	対処方法	参照ページ
修理	壊れてしまったが、修理はできますか？	破損や故障の状況を確認させていただきますので、お手数ですが品番をご確認の上、弊社サービスセンターへお問い合わせください。	裏表紙
	パーツ交換はできますか？	お客様ご自身でのパーツ交換はできません。交換をご希望の場合は、お手数ですが品番をご確認の上、弊社サービスセンターへお問い合わせください。	裏表紙
トリプル保証	トリプル保証って何ですか？	登録システムへご登録いただいたお客様に無償でサービスさせていただいている保証制度です。 ①４年間の製品ロング保証 ②万一の交通事故の際にチャイルドシート無料交換 ③チャイルドシート見舞金制度 (詳細は商品に同梱包されております｢トリプル保証お申し込みのご案内｣をご確認ください。)	—
法規制	何歳まで使用しなければならないのですか？	道路交通法が改正され、2000年4月1日から6才未満のお子様には、チャイルドシート・ジュニアシートの使用が義務付けられています。 弊社では、6才以上のお子さまにもジュニアシートの着用をおすすめしております。(車のシートベルトは大人の身長に合わせて設計されているため、ジュニアシートを使用せずに座高の低いお子さまがシートベルトを装着すると、シートベルトが首にかかり大変危険です。) (お子さまの体格に適したチャイルドシートの情報は弊社ホームページをご覧ください)	—

保管方法

- サポートレッグは一番短い状態にして、ベース背面に固定してください。
- 本品に市販の袋等をかぶせて、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分、廃棄してください。
- 事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペン等で目立つところに記入してください。

ヒント

事故にあった場合は、車のシートやシートベルトを自動車ディーラー等で点検することをお勧めします。

- - - - - - - - - - - - - - - - キリトリ線 - - - - - - - - - - - - - - - -

保　証　書

〈保証規定〉

1. 保証期間内（ご購入日より4年間）に正常な使用状態において、万が一故障した場合には無料にて修理いたします。
2. 保証期間内においても次の場合には有料での修理となります。
   A. 樹脂（プラスチック）部品の紫外線等自然劣化による変色。
   B. 本体カバー等の縫製部品の汚れや損傷。
   C. お客様の誤使用、不当な修理や改造による故障および損傷。
   D. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障および損傷。
   E. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変による故障および損傷。
   F. 本証書にご購入日・販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
   G. 本証書のご提示がない場合。
   H. 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   I. 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
3. 一度ご使用になった製品は、原則的にお取り替えできません。
4. 衝突事故など、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理などの対応ができないことがあります。
6. 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外となります。
7. 日本国内のみ有効

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

お問合わせ先

★商品のお問合わせや、替えカバーなどのパーツ購入については……

カーメイトサービスセンター

TEL 03-5926-1212（代表） FAX 03-5926-1218

パソコンからは…http://www.carmate.co.jp/support/

電話受付時間　〈平日〉10：00〜18：30
〈土･日･祝〉10：00〜12：00/13：00〜18：30

★年始（1/1〜1/2）および、盆時期の一部等は休業日とさせて頂きますのでご了承ください。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品の誤った取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

株式会社カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

キリトリ線

保　証　書

本証書は、裏面に記載の保証規定に基づいて無料で修理することをお約束するものです。ご購入日から保証期間中に製品の故障が生じた場合は、本証書を当社サービスセンターまたはご購入の販売店にご提示の上、お問合わせください。

ご購入後、ご使用になる前にご購入日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
本証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

（製造番号は本体のベース背面に記載されております。）

商品名 エールベベ ・ 360ターンSⅡ エールベベ ・ 360ターン アドバンス	製造番号　※L11B123456などの英数字
保証期間　**ご購入日より４年間** （但し保証規定による）	ご購入日 年　月　日
お名前 ご住所　〒 TEL.	ご購入店名 住所　〒 TEL.

修理メモ